

あくしゅ



所沢市立三ヶ島小学校
通級指導教室
2023. 3

1年間 ご協力ありがとうございました！

寒さの中にも春の訪れを感じる今日この頃です。今年度の「きこえ・ことばの教室」の指導も終わろうとしています。保護者の皆様、在籍校の先生方をはじめとした「きこえ・ことばの教室」に関わる皆様のおかげで、充実した1年を過ごすことができました。ご理解・ご協力、ありがとうございました。この3月には4人の6年生が三ヶ島小「きこえ・ことばの教室」を巣立っていきます。「自分に自信が持てるようになりました。」と、頼もしい声を聞くことができました。通級する全ての子がたくさん成長できたなと感じています。

難聴理解学習「きこえにくいって どんなこと？」を行いました！

12月に、泉小学校の3年生に難聴の理解啓発授業を行いました。めあては「きこえにくい人に見えることを考えよう」でした。イヤードیفENDERを使って、聞こえないことの疑似体験をしたり、補聴器のことを学んだりしました。また、小手指小学校の6年生にも授業を行いました。めあては、「聞こえにくい人の気持ちを考えよう」でした。聞こえにくい体験や「難聴理解カルタ」を使い、聞こえにくい人の困っていることや気持ちについて学習しました。子どもたちは、本当に話をよく聞きよく考えていました。聞こえにくい人に対して、今回の学習のことを思い出してくれたらいいなと思います。

【子どもたちの感想】 (一部抜粋)

【3年生】

- 耳が聞こえない・聞こえにくい人には、かたをたたく、ジェスチャー、紙に書く、もう一度言う、とかいろんな工夫をしていきたいです。
- 何回か声をかけたり、かたをやさしくトントンしたりしておしゃべりをしたいと思いました。
- 耳が聞こえにくい人の気持ちが分かったし、紙に書いてあげるとかそういうかんたんなことでいいんだなあと思いました。「何時？」って聞かれたら、指で1や3で表すのもいいなと思いました。
- ほちょうきをしていても、なんでも聞こえるわけではないことも分かりました。耳が聞こえにくい人に、近くでゆっくり、はきはきと話したいです。



【6年生】

- 自分のことだけを考えるのではなく、周りにいる困っている人のことを少しでも手助けしたいです。
- マスクをしていて口元が見えないので、ゆっくりはっきりと相手が不安にならないように気を付けたいなと思いました。
- 授業で耳が聞こえにくい人の気持ちに寄り添えた気がします。その人たちに寄り添って、みんなが気持ちよく過ごせる環境を作っていきたいと思いました。(略)自分にできることを探し行動出来たらなと思います。
- 今日の授業で、少しだけでも自分にできることを行いたいと思いました。そして、耳の聞こえない人のためだけでなく、みんなのために取り組んだなということにすごく共感できました。



退級した児童の保護者の感想

○いよいよ退級です！入級を決めた時、「個人差があるから。」と言われつつ、「この子は、長期に渡ると思います。」と言われ、「そんなに酷いのか・・・。」と途方に暮れていました。しかし、本人が「なおしたい。」と決断をしたので、応援することに。「なおしたい！」と言った肝心の本人は、授業中、あの手この手で先生の手を煩わせており、思うように授業スケジュールも進まなかったのではないかと思います。しかし、先生の指導は素晴らしく、気を引くこと、興味を持たせるように導いてくださり、約1年半での退級となりました。

毎週通うということに、職場の理解を得ること、苦手な運転をしなければならないことと、親も決して楽ではありませんでしたが、我が子の発音が日常生活でもクリアに聞こえた時は感動しました！子供自身も毎日の宿題は大変そうでしたが、毎回楽しく授業が受けられていたので、通級を「やめたくない！」と言っています。また学級担任の他に、きこえ・ことばの教室の先生がいるというのも親として心強かったです。本当にお世話になり、ありがとうございました！
【発音 2年生】

○小1の時から通い始め、残りわずかとなりました。難聴の影響で学習にどのような支障があるかも分からない、手探りの状態で入学してから、ずっと先生方に寄り添っていただきました。小さな成長を全力で喜んでいただき、母も子もとても心強く、「このまま頑張っていけばよいのだな。」と自信を持つことができました。引っ込み思案で、モジモジしていた子が、6年間で自分の苦手を発表して、支援を自らお願いできるまでに成長しました。また、難聴がありながらも、とても自己肯定感の高い12歳になれました。グループ学習会を通して、決められた役割を果たしたり、通級で頑張る仲間との交流を楽しんだりすることで、大きく成長していたように思います。先生方、6年間お世話になりありがとうございました。「きこえ・ことば」の存在は、母にとっても、とても大切なお守りのような、心強いものでした。もうここに来なくなるなんて、ちょっと想像できないくらいで寂しいです。中学生になって、元気に成長した姿を見せに来られたらいいなあと考えています。ありがとうございました
【難聴 6年生】

○通級開始前、娘が悶々と悩んでいる様子を目の当たりにした時、「大丈夫だよ。」「一緒に乗り越えよう。」と言いながら、親である自分の言葉に説得力がないなあと感じていました。その頃、私自身、どう娘を支え、導いていけばよいのか手詰まりの状況だったと思います。今、娘が「吃音がある自分も、全部まとめて自分らしい自分だ。」と理解し、前向きに捉えている様子を見て安心しています。

学校生活での問題に直面した時、どのように周囲の人達に働きかけ、理解を得たら良いのかをきこえ・ことばの教室で一緒に考え、取り組んでいただけたことで、今後、もし何かが起きても、同じように対処していけば良いのだと思えるようになりました。時には、理解を得られない場面もあるかと思いますが、それはそれとして、気持ちを切り替えて、前を向ける心の強さも身につけられたと思います。言葉のつまりや出にくさは相変わらずあるので、見た目としては何も変わっていないように見えるかもしれませんが、娘の心の中は、劇的に変わりました。

近隣小学校に通う吃音の仲間にも会えて嬉しそうでした。重々しい空気を感じない「学校」という場所に出会うことに意味があると感じました。みんなの笑顔が自然で、グループ学習会で「自分自慢」をやり終えた時のドヤ顔も最高で、一緒に見守り合いながら笑った経験が自信に繋がるんじゃないかと感じました。吃音についての情報は、最近では、本やインターネット等でも手に入れやすくなりましたが、それだけでは学べない多くのことを、きこえ・ことばの教室で、親子で学ばせていただいたと思います。本当にありがとうございました。

【吃音 5年生】



退級おめでとうございます。自信をもって、過ごしてくださいね！

3年生

○「きこえ・ことばの教室」のことを知りませんでした。初めての子ではなく、3番目の子です。どうすればよいのか保育園で相談しても、「大丈夫よ。」だけでした。担任の先生から（この教室のことを）伺い、仕事をしているので、どうすべきか悩みつつも、息子が1番！と思い、上司に相談し、毎週通うことができました。私はラッキーでした。息子はもっともっとラッキーでした。「きこえ・ことばの教室」を知れたこと、通えたこと、また大きく成長できたこと。先生のおかげで、言葉だけではなく、勉強に向かう姿勢、向かおうとする気持ち、全て成長できました。心から感謝しております。私たち親子は、恵まれた環境にいたから通えましたが、通いたいのに通うことができない児童もいるかと思うと、本当に恵まれていることに感謝の気持ちでいっぱいになります。約2年間、ありがとうございました。私も勉強になりましたし、一緒に行くのも楽しみでした。退級は淋しいですが・・・ありがとうございました。息子は感想用紙を記入しながら、最後だ・・・と泣きながら書いていました。そんな風な姿は初めてです。大きく成長できました。

【発音 3年生】

○ほちょうきをしていても、なんでも聞こえるわけではないことも分かりました。耳が聞こえにくい人に、近くでゆっくり、はきはきと話したいです。みんながしずかにしたりして、協力したいです。

- ・ほちょうきのことがよく分かったので、つけている人には、近くで、前からゆっくりと話そうと思います。
 - ・いっぺんにあまり言わないことを気をつける。ほちょうきは全部の音が聞こえると思ったけど、後ろは聞こえないんだなと思った。これからは、はっきりゆっくり話したいです。
 - ・何回か声をかけたり、かたをやさしくトントンしておしゃべりなどをしたと思いました。
 - ・今は、マスクをしてるから、ジェスチャーろしたり紙に書いたりしてあげたいです。
 - ・耳が聞こえにくい人には、ゆっくりとはっきり言ったり、ジェスチャーをやったり、紙に文字を書いて伝えるということや耳が聞こえにくい人の気持ちがよく分かったので良かったです。
 - ・もし、聞こえていなそうな人がいたら、前から言ったり、トントンしたりして、気づいてもらってから言うようにしたいです。
 - ・ほちょうきがあれば、声は耳の聞こえにくい人にとどくと思っていたけど、よけいな音も大きしちゃうから、かんぺきには聞こえてないと知りました。
- 今は、マスクをしてるから、ジェスチャーろしたり紙に書いたりしてあげたいです。

6年生

○もし、聞こえにくい子が困ってたら、すぐに声をかけてその子の役に立ちたいと思ったし、自分も何度も「もう1回言って。」

と言うと申し訳なくなってしまうことがあるので、そう思わせる前に自分からもう一度話すことを心がけようと思いました。

・耳がよく聞こえない人側の視点から物事を考えたことがなかったので、視点を変えながら生活していきたいと思いました。

・今回の授業で、あらためて耳が聞こえにくい人について、自分もその子のみになって考えることで、ちゃんとその子の気持ちを少しは知れたかなと思うので、周りにそういう人がいたら、上手に気配りできるといいなあと思います。

・今回の授業で、何に気を付ければよいか、どう行動すればよいか分かってよかったです。

・今は、マスクをしていて口元が見えないので、ゆっくりはっきりと相手が不安にならないように気を付けたいなと思いました。(略) 自分のことだけを考えるんじゃなくて、周りにいる困っている人のことを少しでも手助けしたいです。

・今後、周りにそういう人がいたら、みんなと変わらず生活できるようにサポートしてあげたり、相談にのってあげたりしたいです。

・今日の授業で考えたことは聞こえない人たちの気持ちです。聞こえない人たちは「相手が言ってることはこれであってるかな、不安だな。」とか、今はマスクをしているので「何を言っているか分からない。」など「不安」という気持ちが多いんじゃないかなと思いました。まずは、理解から始めたら良いのではないかなと考え

ました。

・ゆっくりはっきり話したりすることは、だれにでもできるから心がけたいと思いました。(略) 静かな時間の大切さが分かりました。

・今日の授業で、少しだけでも自分にできることを行いたいと思いました。そして、耳の聞こえない人のためだけじゃなくて、みんなのために取り組むんだなということにすごく共感できました。(略) 聞こえない人は、聞こえない生活をしていてすごく不平等だなと思い、人と話すときは思いやりを持ちながら話すことが大切だと思いました。

・もし、聞こえにくい子が困っていたら、すぐに声をかけて、その子の役に立ちたいと思ったし、自分も何度も「もう1回言って。」と言うと申し訳なくなってしまうことがあるので、そう思わせる前に自分からもう一度話すことを心がけようと思いました。

・耳の聞こえにくい人と話すときには、口を大きく開けたり、ゆっくりと話したほうが分かりやすいと思いました。今は、マスクをつけているので、あまり表情が分からないので、紙に書いて伝えたいと思いました。

・今日学習したことを一つでも多く実践してみようと思います。難聴などに興味を深まる人が増えてくれたらいいなと思います。

・難聴というのは目に見えない障害なので、難聴の人が苦しんだり責められたりしてしまわないように、難聴ということを知らせるバッチやキーホルダーがあるといいのかなと思いました。

・私も周りがうるさいと口や表情を見ているので、マスクは口が隠れて困ることがよくあります。私は聞くのが苦手な人にだけでなく、他のみんなにもゆっくりはっきり話そうと思います。

・耳があまり聞こえない人のために、自分はその人のことを考えて、紙に書いたり2度話してみたりして、生かしていきたいです。

・あまり聞こえにくい人のことを知らなかったのが、考えるきっかけになってよかったです。